

夏祭り

七月二十六日に御輿が町々をねり歩き、二十七日には諏訪神社の祭礼が行なわれ、今年の香川の夏祭りも盛大にその幕を下しました。

太鼓の音がだんだんと近づくにつれ夜店の明りが目に入り一段と高い諏訪神社の階段まで人が波がたついて、お祭りだなと感じられる頃、ひとときわ高く津軽三味線の音が舞台から聞こえて来ました。

催し物を楽しんでおられる人々に香川のお祭りについて二、三お聞きしました。

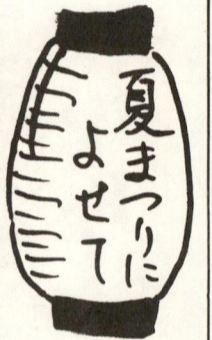
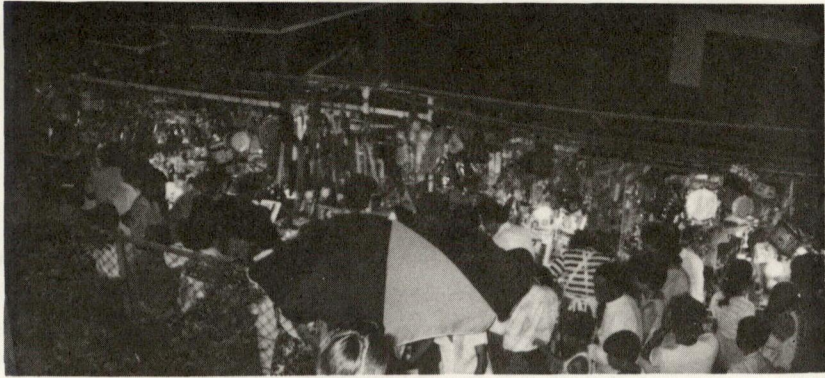
・お祭りの夜ぐらゐは神社の近くの家は提燈を各家の門にさげて明るくお祭りのムード作りをしてほしいですね。

・堤に住んでいますが香川は家が近いのでお祭りにはいつも学生頃から来ています。昔、田や島があったところ迄家が建っているのが年々多くなっていると思います。出し物もこれといったのじゃないですか、お祭りはいつきてもいいものですね。

・出し物の中にもカラオケ大会を入れるのもっと大勢の人が楽しめるのではないのでしょうか。

・香川の神社の祭礼は二十七日ですが日曜日でない年は夜店や出し物だけ日曜日にしてほしい。店の前を行き交う人々は出店のお面の前に立ち止ったりヨーヨーを買ったり、氷まんじゅうをストローですりながら歩いたり、ラムネ一五〇円の値札を横目で見ても通り過ぎたり、人波にもまれないながらも「お久しぶり」「今晩は」といっても忙がしくて逢えない人達が時は立ち止り話し合い、又家族連れ、御夫婦で歩いておられる姿はいつみてもいいものだと思います。

・ただ洋服が身につけていたいか浴衣姿が少ないように思えます。一年に一度の香川のお祭りをもっと楽しいものに、人々の和に役立つものにと願って止みません。



諏訪神社は、長野県諏訪にある諏訪大社を本宮として、全国に分布する御分社は一万余社にのぼり御神徳は開運招福、農耕生産の神として、又勝負の神として多くの武将の信仰をも受けていました。全国の御分社の多くは旧暦八月二十七日を例大祭日として厚く祀られています。

因に社紋は梶の葉であります。香川の諏訪神社の創建は詳らかでないが、当地の総鎮守で古くからお諏訪様といつて崇め親しまれて来ました。

御祭神は建御名方神と八坂刀売神のお二方です。長野の諏訪大社に上社下社があるように、香川にも篠谷一九五七番地に上諏訪神社(現在跡地に「上諏訪神社跡」という碑が建てられています)東一五七八番地に下諏訪神社がありましたが、明治八年七月下社に合祀されたのが現在の諏訪神社であります。当時御祭神は上社が建御名方神、下社が八坂刀売神で建御名方神の御父神は大國主命、妃神が八坂刀売神であらせられます。

例大祭は古来七月二十七日であります。合祀前は上社下社で一年交代で執り行われていたこととす。

以前は当神社の例大祭には氏子崇敬者數十人の奉仕によって大祭の準備、片付け等をして居りましたが、近年諸種の事情で奉仕して下さる人が極めて少なくなり神社総代の方々の苦勞は大変です。

祭りの際の露天商は夏の風物詩としてその盛り上りを助けているのは結構ですが、狭い道路を塞がれて通行に支障があること、終了後の境内、道路の清掃等色々問題があり役員一同苦慮している次第です。

又神社は主として例大祭の奉納金によって、社殿、境内の整備等一ケ年間の経費を賄って居りますので皆様の御協力を切にお願いいたします。

諏訪神社代表役員
熊沢賢三

茅花会

○祭笛 遠し夕べの 歌洗ふ
○しらぬ間に母の 齢越ゆ 敗戦日
○さまたまな 人間模様
○舗道割る 実草の言葉 夏の日
○萬緑に しづみゆきけり (柳田ふじ子)
○竿竹に陽のぬくみあり 夕鴉
○灯入れには間のある刻の 赤とんぼ (藤村球子)
○ねぎらいの言葉に迷い 絵灯籠 青メロン (香沢みや)

街のかどから

何とかくして、犬の哭声

住宅が密集してくると早朝や深夜の犬の哭声は騒音となり睡眠を妨げ非常に迷惑を被っています。また犬の散歩についてはフンの始末をする用具を持ち、フンは必ず家に持ち帰って下さい。愛犬家の皆様困っている人が多いのです。



交通安全協会

現在香川では市より五人委員されて松林支部に属している。池田博、八城彦兵衛、池田明朗、岡本銀一、熊沢武光氏。仕事としては香川内において朝七・三〇ノ八・三〇の間香川駅前や学校の周辺などを見まわりを行っている。夏は主に海岸の警備を行っています。

計報

山本	正男殿	52才	4月11日
関口	森太郎殿	80才	5月12日
末森	肇殿	55才	6月7日
梅谷	房子殿	73才	34組の1
土田	勇蔵殿	72才	6月16日
坪田	一雄殿	63才	7月18日
鳥生	芳行殿	83才	17組の2
石井	セキ殿	79才	7月28日
			17組の1

前号記事の訂正とお詫び
婦人会会長香沢みやさんの電話番号 正 五七一九六六

不燃物・粗大ごみ収集日
九月八日 (火)
十月九日 (金)
十一月十日 (火)
十二月八日 (火)



子供に本を与えるのは、筋を解らせるためや、言葉を教えるためではありません。子供は何時にも主人公になって、感動し、深く心にその体験を積みこみ、積み重ねて行きます。
(かがわ文庫の貸出しは毎週土曜日午後一時半～三時、月四日行います。五週目はお休み)

編集後記

新年度の半ば役員会の状況など取りあげてみました。昨年は浜降祭の記事を載せましたので今年香川のお祭りの様子などを八月は近くの団地祭、香川のお祭り、盆踊りと暑さを忘れさせる行事も盛りたくさん。茅花会からの投句は前号に間に合わず今号は夏の句を選びました。